

本日も議論いただきたいポイント

宇宙開発利用部会（第102回）
資料102-4-2再掲

1. 「中長期の宇宙研究開発戦略」の策定に向けて、**我が国が目指すべき方向性、特に考慮すべき国際動向や技術開発課題**
2. 『官民投資ロードマップ』の検討に資する観点から、限られたリソース(人材・資金・設備)を最大限有効に活用し、安全保障分野と民生分野との連携を含め、**官民の多様な主体が担っている研究開発から事業化までの取組をシームレスにつなげるために留意すべき事項や具体的方策**
3. JAXAに求められる役割が増大する中、**人材・技術基盤を強化しつつ、JAXAとして更に強化して取り組むべき事項、民間との役割分担を整理すべき事項**
4. 「中長期の宇宙研究開発戦略」のKPIの設定において特に重視すべき視点

(参考) 現行基本計画のKPIは市場規模(4兆円→8兆円)のみ。宇宙戦略基金の基本方針において以下KPIが設定されている

輸送	{ 2030年代前半までに、基幹ロケット及び民間ロケットの国内打上げ能力を年間30件程度確保。
衛星等	{ 2030年代早期までに、国内の民間企業等によるシステムを5件以上構築。 2030年代早期までに、国内の民間企業等による主要な通信・衛星データ利用サービスを国内外で新たに30件以上社会実装。
探査等	{ 2030年代早期までに、国内の民間企業・大学等が月や火星圏以遠のミッション・プロジェクトに新たに10件以上参画。 2030年代早期までに、国内の民間企業等による地球低軌道を活用したビジネスを10件以上創出。